

# 滋賀県議会だより



No.100

編集・発行 / 滋賀県議会

## 11月定例会議の概要

11月28日～12月20日の23日間

11月定例会議では、「令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第5号)」をはじめとする知事提出議案19件と議員提出議案8件が上程されました。これらを審議した結果、意見書案3件を否決したほか、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

また9月定例会議において継続審議とされていた平成30年度滋賀県歳入歳出決算の認定等を求めることについて、認定または可決しました。

各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。

### ●CSF(豚コレラ)対策のための補正予算を可決

総額で5億8,455万4千円の一般会計補正予算(第5号)を可決しました。CSFの対策を行っている家畜保健衛生所における交差汚染防止のため、施設改修の設計経費などが計上されています。

### 災害対策

**問** 国は既存ダムの運用見直しに向けた検討会議において、利水目的のダムについても大雨の際には事前にダムの水を放流し、貯水量を増やすことを目指しているが、本県の対応を伺います。

**答** 県内で利水機能を有し、事前放流の可能性のあるダムは、上水道・工業用水の供給および治水目的の青土ダムと、農業用水の供給を目的とした、永源寺ダム、野洲川ダム、蔵王ダム、犬上川ダムです。

豪雨が予測される場合は、これらのダムで事前放流することにより貯水容量を確保することが有効と考えられますが、実施には、利水関係者の協力が不可欠であること、放流能力が不足し事前放流に時間を要すること等の課題があります。このため、まずは青土ダムについて、操作ルールの検討、利水関係者との協議・調整を含め、事前放流の実施に向けた取組を始めたところです。

また、永源寺ダムにおいては、台風シーズンには、通常より貯水位を下げ、洪水に備えた運用を行うとともに、関係市町等と愛知川沿川の防災対策に関する議論を行っています。今後は国の議論も注視し、対

## 11月定例会議における 質疑・質問から

応について議論をしっかりと積み重ね進めてまいります。



青土ダム

### 観光振興

**問** 令和元年10月に観光庁が公表した宿泊旅行統計調査では滋賀県内宿泊者数は2か月連続で前年を下回っており、うち外国人についても全国平均を大きく下回っている状況です。宿泊客と外国人客の誘客に向けた戦略的な取組について伺います。

**答** 宿泊客数の増加に向けて特別拝観などの朝型・夜型観光、滋賀の暮らしそのものを体験いただく滞在型観光の充実を図ること等を引き続き推進してまいります。また、外国人観光客数の増加に向けては、滋賀県への来訪が多い東アジアをターゲットと



西教寺の夜間特別拝観

### 医療政策

**問** 看護職員の2025年における需給推計が取りまとめられ、県内で709人から2097人が不足するとの見込みが示されました。このことを踏まえ、看護人材の確保、養成をどのように進めていくのか伺います。

**答** 今回の看護職員需給推計は、地域医療構想等における2025年の医療需要に基づき推計されるなど、一定の前提条件の下で算定された需要と供給の今後の大きな方向性を示すものとして捉えています。

### 行財政

**問** 予算編成方針に掲げる「誰ひとり取り残さない」「わくわくする予算」「世界とつながり」の3つの視点をどのように施策に反映するのか伺います。

**答** 新年度予算編成では、「健康しがへの挑戦」をメインテーマに、特に意を用いる3つの視点を示したところです。

「誰ひとり取り残さない」という視点では、特に、様々な課題や生きづらさを抱える子ども達に寄り添い、児童虐待や貧困、いじめ・不登校等の課題解決に向けた取組をしっかりと検討し、「子ども」の健やかな成長につなげてまいります。

「わくわくする予算」という視点では、IoT、AI、自動運転などの近未来技術の実装に向けた取組や、幻の「安土城」復元プロジェクト、戦国ワン

今後、地域・施設による看護職員の偏在や勤務実態等の県内の実情を把握するため、既存の調査・統計に加えて、県独自で新たな調査等を実施する予定です。

併せて、多くの外国人観光客が滞在している京都市で展開する「そこ滋賀」プロジェクトにおいて、京都からすぐ近くの滋賀に来ていただく取組を強化してまいります。

し、特に中国については、長沙に開設しました「滋賀県誘客経済促進センター」を拠点に、友好州省連携の係性を活かした取組を進めたいと考えています。

#### 用語解説

※1 「そこ滋賀」プロジェクト… 京都を訪問している外国人観光客に対して滋賀県の魅力を発信し、誘客を進めるプロジェクト。  
※2 「IoT」… 自動車、家電、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをする仕組み。

「世界とのつながり」という視点では、来年度、東京オリンピック・パラリンピックなど世界に広く発信するチャンスがあると考えています。また、「滋賀県誘客経済促進センター」を活用するなど、本県への観光誘客や県内企業の海外進出、人材確保にもつながる取組を検討し、世界から選ばれる滋賀を意識して、予算編成にあたります。



ビワイチ

### 福祉政策

**問** 手話言語条例や情報コミュニケーションに関する条例検討小委員会が平成31年3月26日に設置されたが、その経緯や目的、これまでの検討結果、今後のスケジュールを伺います。

**答** 条例検討小委員会は、滋賀県社会福祉審議会

の共生社会づくり条例に関する答申を受け、手話言語や情報コミュニケーションに関する条例の必要性等について、全県的な議論を行うために設置しました。視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、発達障害者など、多様なコミュニケーション手段を用いる方々や支援者に参画をいただき、先自治体の状況や専門家のお話も伺いながら、丁寧に検討を進めています。

これまで4回開催し、条例が必要という点では一致していますが、条例の形については、手話言語と情報コミュニケーションを一体的に条例化するべきという意見と、それぞれ制定すべきという意見に分かれている状況です。今後、小委員会が今年度内を目標に「中間まとめ」を行っていただく予定であり、その報告を受けた障害者施策推進協議会の御意見を踏まえ、条例化する場合の形、時期等について、県としての考えを示してまいります。

### 農業政策

**問** 今年度「滋賀県産オーガニック」を国内外へ向け発信されたが、現状での評価と課題、今後の展望について伺います。

**答** 本県のオーガニック農業では、安定生産技術が確立しつつある水稲と茶を中心に進めることとし、水稲については、県が作成した「栽培の手引き」を活用した現地実証など技術の普及を進めるとともに、この秋に「オーガニック近江米」の試験販売を開始しました。現在、大手量販店で通常の米の2倍近くの価格で販売され、売れ行きは順調と伺っています。茶については、生産者と販売業者等が連携して生産拡大を進め、アメリカ・ミシガン州での販路開拓により、4店舗で販売が始まったところ



オーガニック近江米を販売している様子

このように生産者、農業団体、流通業者、行政が一丸となり産地づくりと販路開拓を同時に進め、全国初となるオーガニック米の県統一ブランドの商品化が図れたことなどは、今後につながる大きな成果であります。

今後、生産と流通両面からの取組を一層強化し、輸出の可能性も視野に「オーガニック」といえば「滋賀県」となり取り組んでまいります。

### 学校教育

**問** 不登校児童生徒が増加傾向にある中で、小学校と中学校、中学校と高等学校間での情報共有の状況と課題、今後の取組について伺います。

**答** 中学校1年生で不登校生徒が急激に増加する、いわゆる「中一ギャップ」を解消するため、中学校区ごとに管理職や各担当者が定期的に情報共有を行うとともに、小学生が中学校の授業を体験したり、生徒による学校生活の紹介のような、中学校区における小中学校の共通実践など積極的な連携を推進しています。中学校・高等学校間については、進学時の情報共有は適切に行われていますが、進学後それぞれの高等学校において、生徒の出身中学校すべてと緊密な連携を図ることは、対象となる中学校が多く、小・中学校間に比べて困難があります。今後、中学校・高等学校間による、更なる連携について、より適切に情報共有できるような仕組みづくりを検討してまいります。

### 11月定例会議で審議した主な議案

議案番号	件名	結果
(知事提出) 議第161号～ 議第165号	平成30年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて ほか4件	認定
議第183号	平成30年度滋賀県モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分につき議決を求めることについて	可決
議第196号～ 議第197号	令和元年度滋賀県一般会計補正予算(第5号) ほか1件	可決
議第198号～ 議第205号	滋賀県特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案 ほか7件	可決
議第206号～ 議第210号	契約の締結につき議決を求めることについて(草津警察署庁舎新築工事(建築)) ほか4件	可決
議第211号～ 議第214号	滋賀県人事委員会委員の選任につき同意を求めることについて ほか3件	同意

### 11月定例会議で審議した意見書

番号	件名	結果
意見書第17号	1年単位の変形労働時間制導入の中止を求める意見書案	否決
意見書第18号	後期高齢者医療制度の窓口負担の現行1割継続を求める意見書案	否決
意見書第19号	要介護度1・2の介護サービスを介護保険給付から外さないよう求める意見書案	否決
意見書第20号	私学助成の充実強化等を求める意見書案	可決
意見書第21号	軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書案	可決
意見書第22号	新たな過疎対策法の制定を求める意見書案	可決
意見書第23号	「あおり運転」に対する厳罰化等の更なる対策の強化を求める意見書案	可決
意見書第24号	CSFの早期終息等に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書案	可決

### 11月定例会議で採択した請願

- 免税軽油制度の継続を求めることについて

### 議会からのお知らせ

● **滋賀県議会ホームページ、Twitter(ツイッター)**  
本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。また、本会議の様子はライブ中継と録画配信もしています。(※スマートフォン等でも御覧いただけます)  
[滋賀県議会ホームページ](https://www.shigaken-gikai.jp/)  
<https://www.shigaken-gikai.jp/>  
[滋賀県議会ツイッター](#)  
(アカウント名 @shigakengikai)



### ● 2月定例会議の御案内

2月17日(月)から3月23日(月)までの36日間の日程で開催する予定です。  
本会議や委員会は傍聴することができます。本会議場には、車椅子用の傍聴スペースが2席あります。団体が傍聴される場合や詳細についてはお問い合わせください。

### 宮城県と福島県に見舞金を贈呈

滋賀県議会から、令和元年10月の台風19号により大きな被害を受けた宮城県と福島県に対し、それぞれ10万円の見舞金を贈呈しました。

用語解説 ※3「オーガニック」… 農業や化学肥料を使わないことを基本とし、栽培する方法。